

We are
インフラワーカー



暮らしを支える電気、産業を動かす工場。
命を支える医療、未来をつくる半導体。
街を支える設備、人とのをつなぐ物流。

その裏側には、確かな技術と誇りを胸に、
この国を支える人たちがいる。

私たちは、そんな人たちをこう呼んでいる。
インフラワーカー。

nakatani 中谷機工株式会社

公式HP

時代の変化に対応

千葉市産業特集



千葉市長 神谷 俊一 氏

「開府900年を迎え、改めて千葉市をどのような都市にしていきたいですか。」
「これまでの発展を振り返り、街の価値を高めて次世代に引き継いでいく取り組みを進めている。千葉市は、1912年に日本で初めての民間飛行場の開設、51年の川崎製鉄千葉製鉄所（現JFEスチール東日本製鉄所）の誘致、89年の日本初の本格的な複合型コンベンション施設『幕張メッセ』開業など新しい時代のトレンドを創り出す土地のDNAがあると思う。現在も自動運転やドローンなど国家戦略特区を活用した取り組みに挑戦している。都市の利便性が感じられ、生活の場と緑と水が身近にあって豊かなライフスタイルが送れるという特徴を磨き上げ持続性のある都市に発展させたい」

「千葉マリンスタジアムの再構築を核として幕張新都心が生まれ変わろうとしています。このエリアには、スタジアムだけでなく、プロバスケットチーム『アルティリ千葉』の新ホームアリーナの建設も民間主導で開始する。スポーツ・エンターテインメント・観光を融合させて、365日楽しめる場所にしていきたい。さらに、スポーツやコンベンション関連産業などの集積も検討している。これらの分野の企業や人材による新しいビジネスやイノベーションが生まれるような拠点に発展させていく。産業集積に向けた支援制度も改めて構築していく必要があると考えている。千葉市のアイデンティティの核になる場所となればよい」

「市内の産業構造について。特定産業に偏っており、バランスよく多様な産業が集積している。小売や飲食、生活関連と市民の生活を支える企業がある一方で産業基盤を支える企業も多い。ニッチな領域でトップシェアの企業や成長性の高い企業が集積している。例えば、ドローンを活用したインフラ点検で先進的な取り組みを行っているリベラウェアなど独自性ある先端技術で成長する企業が多い。立地としては、成田空港と羽田空港のほぼ中間に位置しているとともに、日本有数の国際貿易港である千葉港があり、世界につながりやすいという利点もある」

「市内の中小企業の景況感。『中小に限らず企業にとって厳しい状況が続いている。市内の経営者からは先行きの不透明感が拭ききれず、景気が良くなったのかと思うと再び悪化する』という声も聞く。業況DIでも小売業を除くすべての業種で悪化している状況で、先行きの厳しさを多くの経営者の方を感じている。このような状況の中、価格転嫁についても進んでいる傾向ではあるが、依然として低水準であり、引き続き厳しい状況である」

「厳しい状況にある企業をどのように支援していきますか。」

「状況を即座に改善する特効薬のような政策は無く、生産性の向上を地道に行うことが人手不足の中での人材確保に必要な質上げの原資となる。この人材確保が企業の持続的な成長に極めて重要ではないかと思う。市では生産性向上に向けた支援策に注力しており、資格取得支援やリスキリング支援は利用数も増えている。従業員の資格取得支援は運送業や建設業、製造業、自動車整備業が対象で、これらを企業の業績向上に役立ててもらっている。また、個別に相談を受ける体制も整えている。千葉市産業振興財団にコーディネーターを配置し、個社の状況を伺って、どういった対策が必要なのかや、デジタル改革（DX）はどう進めていくべきか、生産性向上のためにどんなことをするべきかなどをアドバイザーしている。こうした伴走支援と、千葉県や国などの制度を組み合わせる業種の好循環に乗せていくことが大切だ」

「市内の経営者にメッセージを。」

「市内企業の事業継続が最も重要な行政課題だと考える。生産性向上を実現し、人手不足を乗り越え安定的な収益構造を持つ会社にするための支援をする体制を今後強化していく」

千葉マリンスタジアムを核に スポーツなど関連産業集積

「2026年は『開府900年』。1126年に千葉重常がまちを開いてから900年となる節目の年だ。こうした中、千葉マリンスタジアムの再構築を核とした幕張新都心エリアで新たな街づくりを進めるなど大きな変革に向けた準備をしている。また、同市の産業は小売業や製造業、サービス業、農業など偏りがなく幅広い業種が国内外で活躍している。だが人手不足や中東情勢の悪化などによる原材料価格の高騰、田舎の長期化など企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続く。同市のこれからや企業支援などについて千葉市の神谷俊一市長に聞いた。

「市内の産業構造について。特定産業に偏っており、バランスよく多様な産業が集積している。小売や飲食、生活関連と市民の生活を支える企業がある一方で産業基盤を支える企業も多い。ニッチな領域でトップシェアの企業や成長性の高い企業が集積している。例えば、ドローンを活用したインフラ点検で先進的な取り組みを行っているリベラウェアなど独自性ある先端技術で成長する企業が多い。立地としては、成田空港と羽田空港のほぼ中間に位置しているとともに、日本有数の国際貿易港である千葉港があり、世界につながりやすいという利点もある」

持続的成長へ人材確保が極めて重要

か。

「状況を即座に改善する特効薬のような政策は無く、生産性の向上を地道に行うことが人手不足の中での人材確保に必要な質上げの原資となる。この人材確保が企業の持続的な成長に極めて重要ではないかと思う。市では生産性向上に向けた支援策に注力しており、資格取得支援やリスキリング支援は利用数も増えている。従業員の資格取得支援は運送業や建設業、製造業、自動車整備業が対象で、これらを企業の業績向上に役立ててもらっている。また、個別に相談を受ける体制も整えている。千葉市産業振興財団にコーディネーターを配置し、個社の状況を伺って、どういった対策が必要なのかや、デジタル改革（DX）はどう進めていくべきか、生産性向上のためにどんなことをするべきかなどをアドバイザーしている。こうした伴走支援と、千葉県や国などの制度を組み合わせる業種の好循環に乗せていくことが大切だ」

「市内の経営者にメッセージを。」

かみや・しゅんいち 96年（平8）東大経済卒、同年自治省（現総務省）入省。01年に赴任したバングラデシュ大使館でイラク戦争に遭遇し、邦人保護の危機管理を担当。04年佐賀県農林水産商工本部新産業課長、10年佐賀市副市長。

13年千葉市経済農政局経済部長、15年副市長。千葉市では大雪や台風災害などで被災した農業・中小企業の支援、道路など各種インフラの復旧対応を指揮するとともに消防局所管の副市長として危機管理を担当。18年消防庁国民保護・防災部広域応援室長、20年総務省退局。21年千葉市長。25年再選。

座右の銘は「一隅を照らす」。千葉市の取り組みが地域を輝かせ、その光で日本、そして世界を輝かせる。趣味は料理と卓球、クロスバイクでのサイクリング。料理教室には4年間通った。得意料理は、なすとベーコンのトマトパスタ。53歳。



新工場 兼 展示場 稼働開始

展示場では溶接ロボットシステムやハンドリングシステムを実演します

株式会社 ラインワークス

LINE WORKS

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町 69-1

TEL 043-250-0165 FAX 043-257-9488

ラインワークス <https://lineworks.info>



水を通じたサステナブルな 社会に貢献する

私たちは、生活や産業活動により汚れた水を大切に循環させ、
安心安全な暮らしを守るための活動をしています。



90th
Anniversary

 **CLEAN SENSE** 株式会社 センエー

千葉県千葉市稲毛区黒砂2-12-11 TEL:043-241-3156 <https://www.sen-e.co.jp/>



千葉市で輝く中堅・中小企業

千葉市産業特集

人手不足や物価高騰が千葉市の企業を直撃している。さらに、中東情勢の悪化などグローバルリスクも高まり、景気の先行きには不透明感が漂う。こうした中でも事業の拡大や新しい市場への参入、新製品開発などで現状を打破し、持続的な成長を目指す企業は少なくない。このような挑戦する同市の企業を特集する。

センエー

インフラ保全に長年尽力



パイロットと呼ばれるドローン操縦を担当の社員が活躍する。

「ゆたかな環境づくり」を目指す
センエー(千葉市稲毛区、山本剛社長)は、都市・環境整備業を手がける。水の環境の保全に努め、下水道管路メンテナンスが主力事業だ。「ゆたかな環境づくり」をモットーに掲げ、時代に合わせた主力事業を変えつつも、水の環境と社会インフラを守る理念は変わらずに持ち続けている。

自然災害時の公共インフラ再整備業務でも多くの実績を持つ。これまでに全国各地で発生した大地震の復旧業務にあたり続けた。2024年の能登半島地震では被災状況の調査を行ったほか、25年に起きた埼玉県八潮市の道路陥没事故でも40日間・24時間体制で復旧作業に尽力。8月の千葉県豪雨でも近隣自治体からの復旧要請に総力を挙げて応えている。

また、デジタル変革(DX)にも積極的で、今年4月にはリベラウェアのドローンを導入。現在、同社には操縦担当の社員が4名在籍しており、そのうち20代が3名、30代が1名と若い編成だ。山本社長は「仕事内容の一新に携わるというやりがいが生まれる」と語る。今後も事業をアップデートし続け、持続性の確保を目指す。

中谷機工

千葉幕張事業所を稼働開始



中谷機工が移転、開設した千葉幕張事業所。

「インフラワーカー」の「聖地」を目指す
中谷機工(兵庫県尼崎市、中谷憲正社長)は、千葉幕張事業所(千葉市美浜区)を移転、開設した。関東地方の営業拠点として事業拡大を図るほか、同社が掲げる「インフラワーカー」の「聖地」を目指す。同社は、電力設備や医療機器などの輸送から搬入、設置までを一貫して手がける。事業拡大とサービス向上を目的に、インターチェンジに近い利便性の高い土地を確保した。電力や医療など、人々の「あたりまえの暮らし」を現場で支える担い手を「インフラワーカー」と呼び、商標登録している。「インフラワーカーは裏方ではなく、社会を動かす主役」と位置付け、その価値と魅力向上を目指す。最上階の4階には従業員が無料で使用できるフィットネス設備を導入。アスリート仕様のロッカールームや仮眠室、カフェテリアを併設したワーキングスペースも整備し、働きやすい環境づくりにこだわった。

中谷社長は「現場仕事に付随する3K(きつい・汚い・危険)のイメージを、『新3K(稼げる、鍛えられる、貢献できる)』に変えたい」と意気込む。

吉野機械製作所

中国企業と業務提携



センフェンと共同開発したパネルベンダー。

ブランド「BENDRA」立ち上げ
吉野機械製作所(千葉市緑区、吉野友章社長)は、中国のレーザー加工メーカーである済南森峰激光科技(センフェン、山東省)と板金を自動で折り曲げる機械「パネルベンダー」シリーズブランド「BENDRA」を立ち上げる。第弾として「フレキシブルパネルベンダー」「BENDRA-25」を10月初旬に投入する予定。アームで加工対象物(ワーク)をしっかりとつかんで、所定の位置に送り込む「クランプアーム送り方式」で薄板や大型ワークの曲げ加工に適している。同ワークの量産曲げから多品種ワークの自動化まで対応。高い機械剛性と省スペースを両立する。段取り・加工中の手作業を減らし、曲げ精度の安定化と製品の均一性を向上させる。吉野機械が独自開発した全自動工具長切替システムを搭載し、従来手動だった工具有効長の切替を自動化する。同システムは工具そのものを交換するものではなく、曲げ長さに応じて上部クランプ金型の有効長を自動的に切り替える。

吉野機械が日本と韓国で、センフェンが米国やドイツ、インドなどで販売する。

キーペックス

古紙回収からトイレットペーパー



機密文書を原料の一部に用いたトイレットペーパー。

千葉のふるさと納税返礼品に
キーペックス(千葉市中央区、齊藤進社長)は、書類を中心に保管・管理サービスを手がける。長年、持続可能な開発目標(SDGs)関連の取り組みに積極的で、今年からは市内で回収した古紙をリサイクルして生まれた古紙ペーパーが千葉市のふるさと納税制度の返礼品に採用された。キーペックスは、環境保全の観点から機密文書廃棄サービスを提供している。同社の飯塚義明営業事業部長は、「ゼロからの挑戦で慣れない部分も多かったが、機密文書のリサイクルをアピールするデザインに仕上げた。当社の環境に対する取り組みを知ってもらいたい」と語る。今後、環境に配慮したサービスの展開を加速する考えだ。

キープックスは、環境保全の観点から機密文書廃棄サービスの提供を行っている。

ちばぎん

思いを未来へ、あなたとともに

中小企業 M&A は千葉銀行にお任せください。

あなたにとって「我が子」にも似た会社の未来、わたしたちは徹底的に考え抜きます。

千葉銀行 M&A

コンセプトムービーを右記二次元コードからご覧いただけます。



安心と感動を、未来へつなぐ。

JR東日本

“テクノスポット”
千葉鉄工業団地協同組合

理事長 熊谷正喜

〒262-0012・千葉市花見川区千種町295-2
☎ 043 (259) 0201 (代)

文化が集まる 未来が集まる。

幕張メッセ
Makuhari Messe



ハイテック精工株式会社

熱処理のご要望はハイテック精工にお任せください

全国どこでも
1個から即対応可能

熱処理の
コンビニ
ストア

熱処理
の
コンビニ
ストア

図面1枚のご送付で
一貫加工を承ります

図面 切削 研削 研磨 塗黒 納品

〒262-8508 千葉市花見川区千種町62番地
TEL 043-259-5244 FAX 043-257-3699
www.hightech-seiko.co.jp
熱処理事業部 ISO9001認証取得

サス鉄ナブル!

JFE

JFE スチール 株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)

〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地 TEL 043(262)2024 URL http://www.jfe-steel.co.jp/

CHIBA CORGI
© The Chiba Kogyo Bank Ltd.

Hello!

いちばん近くで、いちばん先まで。
千のしあわせを、興そう。

千葉興業銀行

明日がアルファ!

ケイヨウキンコウの
ケイヨウインコです!

決め手は
アルファです!
よろしく。

〆応援したいよ この街の未来
応援したいよ みんなの挑戦
だからぼくらも 挑戦するよ

プラスαで、未来をともに。

千葉のミライと一緒に

NTT EAST

これからお客様への
感謝の気持ちを忘れずに、
地域の皆様に愛される
「ベストパートナー金融機関」を
目指します。

千葉信用金庫

KEEP EX
株式会社 キーベックス

未来を紡ぐ
リサイクル

KEEP and
EXPRESS

千葉県千葉市中央区中央港2-4-4 TEL043-241-6891
株式会社キーベックス 導入事例公開中! https://keepex.co.jp/case/

限りある資源を大切にします。

・溶融亜鉛めっき事業部
・鉄構事業部
・製缶事業部
・ファネス事業部

大森工業株式会社
〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町323
TEL 043-259-3575 FAX 043-259-3578 http://www.ohmori-kk.co.jp

900年の足跡に脚光

千葉市産業特集



千葉市発展の礎を築いた千葉常胤と千葉城

現在の千葉市域は開府以来、千葉一族のまちとして順調に発展してきた。常胤の息子である千葉常胤は、源頼朝を早くから助け、鎌倉幕府の成立にも大きく貢献し、千葉氏中興の祖と称されている。千葉一族の拠点となった千葉城周辺には武家屋敷が並んだほか、現在の千葉神社周辺は特に栄え、武士、商人、宗教家などが交わるまちが形作られていった。常胤以降も千葉氏は引き続き勢力を保ったが、室町時代以降は独立が相次ぎ衰退していく。そして戦国時代末期には後北条氏に仕えるも、豊臣秀吉の全国統一に伴って所領を没収され、千葉氏は滅んだ。江戸時代になると、現在の千葉市域は幕府の近接地として旗本領、幕府直轄領、佐倉藩領、生実藩領などに細かく分けて統治された。産業に目を向けると、農業では、蘭学者の青木昆陽が現在の小石川(東京都文京区)や千葉県九十九里町と共に、幕張(千葉市花見川区)にさつまいもの試作地を設け、天明の大飢饉(ききん)にも効果を発揮した。さらに、さつまいも由来のでんぷん製造



千葉市産業を支える千葉鉄工業団地

今年、企業誘致・官民連携など加速

市制が施行された後も軍需産業拠点としての影響力は健在。民間では旧日立航空機の千葉工場や日本バルブの工場などが置かれ、「軍郷千葉市」と呼ばれたという。しかし、第二次世界大戦に伴う空襲で千葉市は大きな被害を受け、工場地帯を含む市内の7割が焼け野原となった。戦後、千葉市は産業経済振興計画を策定し、今まで根付かなかった製造業の育成を含み、新たな産業施策の実施に乗り出す。日立航空機の跡地に川崎製鉄

(現JFEスチール)を誘致したほか、千葉港の開港、東京電力千葉火力発電所(現JERA運営)の建設など、沿岸部に京葉工業地帯が形成されていった。千葉市はその中心地として沿岸部から産業が展開していく。また、内陸部には千葉鉄工業団地が整備され、市街地に集中していた中小企業の分散も進んだ。平成に入ると、業務中枢機能の東京一極集中を避けるため、幕張メッセの開業を皮切りに幕張新都心が稼働した。また、千葉土気緑の森工業団地や三菱地所が主導するちばりサパークなど市内各地に産業用地の設置も進む。1992年には政令指定都市に指定され、千葉市は関東、日本を代表する大都市へと成長していった。そして、人口100万人突破を目前に控えた今年、千葉市は開府900年を迎えた。現在、市では次の時代を見据え、企業誘致の動きが活発だ。官民連携による産業用地「ネクストコア千葉菅田」はすでに完了。27年度「ネクストコア千葉生実」の完成が控える。幕張新都心では千葉マリンスタージムの建て替えや、プロバスケットボールチーム・アルティオリ千葉のホームアリーナ新設などの大規模工事が予定されている。また、新湾岸道路計画の早期具体化も検討が始まった。次世代につながるまちづくりに向け、関係各機関が動き始めている。新たな歴史のスタート地点に立った千葉市は、未来に向けた取り組みを加速していく。

2026年は、千葉のまちの歴史が始まってから900年となる節目の年。126年に豪族の千葉常胤が、現在の緑区大椎町から中央区汐鼻に居館を移転、「千葉介」を名乗ったとされている。現在は99万人の人口を抱えるまでになった千葉市だが、900年間の間にはさまざまな出来事があった。今回は産業分野に注目し、千葉市産業の歴史に題して、千葉市と産業の発展を追う。

千葉常胤・千葉城 発展の礎築く

が始まり、絹織物ののりとして使われたほか、後の明治時代には食品用の生産も盛んとなった。また、登戸(千葉市中央区)や寒川(同)を中心に漁業も行われており、海産物を江戸へ輸送する動きも活発だったと考えられている。明治期に入り、廃藩置県で千葉県や千葉町が誕生した。千葉町には県庁が置かれ、東京市との鉄道も開通。小売業が急速に発達し、市制施行後も県の中心地として発展した。一方、陸軍の野戦砲兵学校や歩兵学校、下志津飛行学校など軍関連の施設の建設が相次いだ。大正・昭和期に入り、市制が施行された後も軍需産業拠点としての影響力は健在。民間では旧日立航空機の千葉工場や日本バルブの工場などが置かれ、「軍郷千葉市」と呼ばれたという。しかし、第二次世界大戦に伴う空襲で千葉市は大きな被害を受け、工場地帯を含む市内の7割が焼け野原となった。戦後、千葉市は産業経済振興計画を策定し、今まで根付かなかった製造業の育成を含み、新たな産業施策の実施に乗り出す。日立航空機の跡地に川崎製鉄

(現JFEスチール)を誘致したほか、千葉港の開港、東京電力千葉火力発電所(現JERA運営)の建設など、沿岸部に京葉工業地帯が形成されていった。千葉市はその中心地として沿岸部から産業が展開していく。また、内陸部には千葉鉄工業団地が整備され、市街地に集中していた中小企業の分散も進んだ。平成に入ると、業務中枢機能の東京一極集中を避けるため、幕張メッセの開業を皮切りに幕張新都心が稼働した。また、千葉土気緑の森工業団地や三菱地所が主導するちばりサパークなど市内各地に産業用地の設置も進む。1992年には政令指定都市に指定され、千葉市は関東、日本を代表する大都市へと成長していった。そして、人口100万人突破を目前に控えた今年、千葉市は開府900年を迎えた。現在、市では次の時代を見据え、企業誘致の動きが活発だ。官民連携による産業用地「ネクストコア千葉菅田」はすでに完了。27年度「ネクストコア千葉生実」の完成が控える。幕張新都心では千葉マリンスタージムの建て替えや、プロバスケットボールチーム・アルティオリ千葉のホームアリーナ新設などの大規模工事が予定されている。また、新湾岸道路計画の早期具体化も検討が始まった。次世代につながるまちづくりに向け、関係各機関が動き始めている。新たな歴史のスタート地点に立った千葉市は、未来に向けた取り組みを加速していく。

技術提案に
のり
法転
マスター

NET18設備番号
KT-240147-A

新光重機株式会社
〒260-0823 千葉県千葉市中央区地田町 239-9

キュービクル制御盤・製作据え付け

CPS機電株式会社

〒267-0055 千葉市緑区越智町1764番地6 TEL.043-308-3847

想像できると創造できる。

医療と福祉の
アイ・メデックスグループ

心電計・脳波計用電極の開発製造・販売
血圧計・聴診器の開発製造・販売
介護福祉用品の開発製造・販売

株式会社アイ・メデックスホールディングス
本社 千葉県千葉市花見川区宇都谷町1504-6
https://imedex-hd.com/

白鳥製薬は2026年に創業110周年を迎えました

Change the World

私たちは医薬品原料と健康食品の開発・製造・販売を通じて
お客様のQOLの向上に貢献します

白鳥製薬株式会社

[本社] 〒261-7128 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1WBG マリブイースト 28F
[東京事業所] 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-14-3 +SHIFT 日本橋校通 5F

世界のコーヒーを
注文ごとに焙煎

美味しい
コーヒーは
いかが

焙煎処 クライム珈琲 オンラインショップはこちら
有限会社 クライム千葉 千葉県柏市北柏1-7-26 TEL.04-7160-1373

日本の歯科医療を世界に

デンタルサポート株式会社 食べたいを支えたい ~ For your smile ~

〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデンD棟17階
TEL 043-213-6480 FAX 043-213-6491
https://www.dental-support.co.jp/

中小企業や商店を応援!
あなたの悩みを解決し夢を実現します!!

あなたの
ビジネスの
成長をサポート

■経営や技術の相談をしたい ■創業・起業したい
■販路を拡大したい ■新分野に挑戦したい
■大学と研究開発をしたい ■知的財産を活用したい

公益財団法人
千葉市産業振興財団

千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階
https://www.chibashi-sangyo.or.jp/ 千葉市産業振興財団
まずはお電話ください
043-201-9506 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

TOKYO GAS GROUP

CO2を増やさない都市ガスをつくる

東京ガスグループは、脱炭素社会実現を目指して「メタネーション」の社会実装に向けて取り組んでいます。回収したCO2と水素で、CO2をこれ以上増やさない都市ガスe-methaneをつくります。天然ガスとほとんど変わらない性質なので、既存の都市ガスインフラをそのまま使えます。脱炭素社会の実現へ、次世代の都市ガスe-methaneにご期待ください。

CO2を
リサイクルして、
都市ガスに。

H2O(水) CO2(二酸化炭素) H2(水素) C(炭素) H(水素) O(酸素)
メタネーション e-methane(合成メタン) 都市ガス供給 使用(工場・家庭など)

日本ガス協会では、グリーン水素等の非化石エネルギーを原料として製造された合成メタンをe-methaneと呼称しています。